

■陸前高田市 姉齒橋付近にて : ヒアリング記録 : 110506 10:10 ~ ■

首都大学東京 讃岐 (写真提供: 松本真澄先生)

応対して下さった方: 姉齒橋付近にご自宅があったご夫婦

[順不同]

- ・ 気仙川河口よりおよそ 1km 上流の姉齒橋付近 (岩手県陸前高田市気仙町土手影 1-2、北緯 39.010379 度、東経 141.619123 度) にて。
 - ・ 姉齒橋と河口付近の気仙大橋は、橋桁が津波に流され、橋脚のみ残っている (右写真は姉齒橋)。
 - ・ 上記住所付近にご自宅のあったご夫婦が、何かを探しておられた。
 - ・ 地震に見舞われた当初、ご主人は外出、奥様は (ご主人の?) お母様を見舞われて県立高田病院 (岩手県陸前高田市気仙町中堰 3 4、姉齒橋より 500m 東) を訪れていた。
 - ・ 外出していたご主人は、奥様とお母様のいる病院へ自転車で向かわれた。
 - ・ 大震災の 1 週間前の地震で、30cm の津波を観測。
 - ・ 3.11 地震が起こってから、放送にて「3m の津波が来る恐れ」というアナウンスが入る。
 - ・ 以上 2 点の経験と放送から、被害が拡大したとの認識。
 - ・ 黒い粉じんと飛沫、よくわからない。津波が押し寄せる。病院では、4 階半分まで津波が到達。
 - ・ 陸前高田市民体育館の屋根の最高点にしがついた 3 人が助かり、それ以外の避難者約 80 名 (長部コミュニティセンターでは約 100 名との情報) は津波に流された。
 - ・ カキ養殖等の漁業施設が流れ着いている。
 - ・ 下流の下水処理場 (陸前高田浄化センター) ※ 1 も水没。
 - ・ 現在、食事は安定的にとれているが、下水が復旧していない。
 - ・ 陸前高田市立第一中学校には 500 名程度の方が避難しているとの情報。※
 - ・ 「何もない、あきらめるしかない」、「平らな場所に住み過ぎたのだなあ」
- [未完]





※：第一中にて、避難者 500 人という数値が正しいことを確認。主として体育館におられ、お年寄り室や隔離室（感染症等）が別に設けられていた。

←第一中学校の校舎



←校舎内見取り図 1



←体育館の様子